

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県 備前市

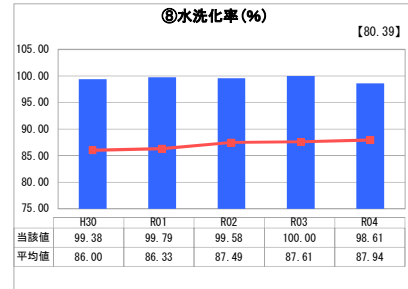
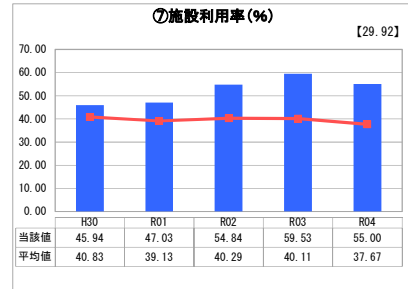
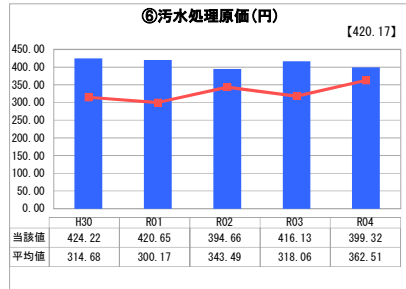
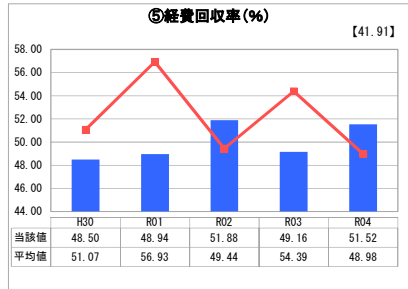
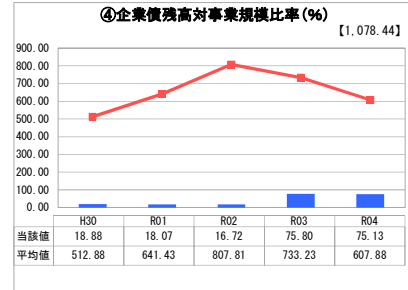
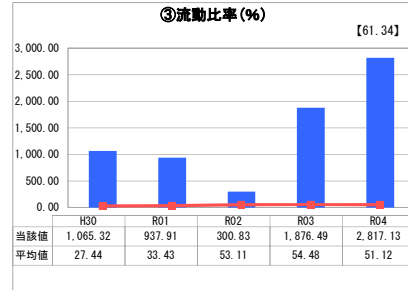
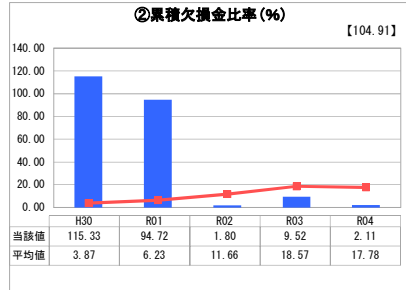
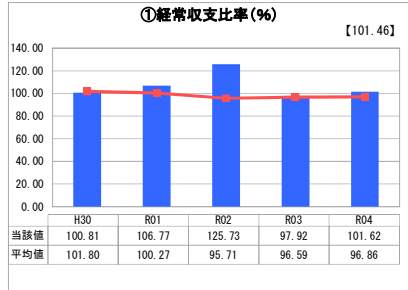
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	96.99	1.36	30.84	3,872

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
32,068	258.14	124.23
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
433	0.88	492.05

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

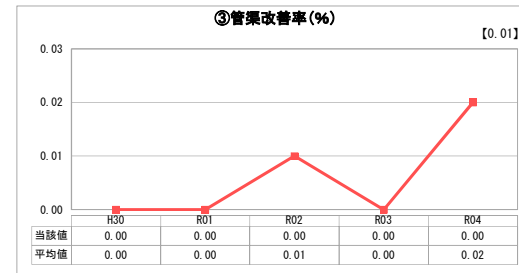
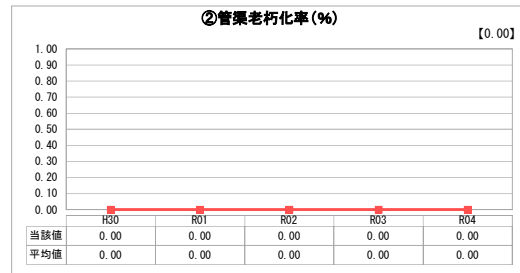
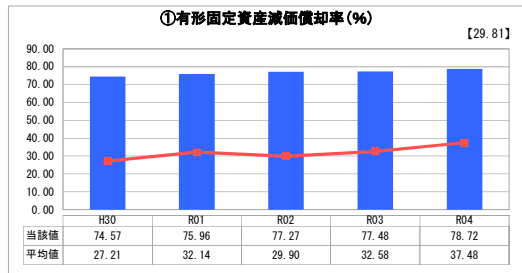
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率はともに前年度と比べて改善している。
 ③ 流動比率は、前年度に比べ改善した。未払金が減少したことによる。
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、前年度に比べ同程度で推移している。
 ⑤ 経費回収率は、ほぼ横ばいで推移している。
 ⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均値と比べて若干高い。ただ、事業規模が小さいため、今後も有収水量の増加なども見込めない状況である。
 ⑦ 施設利用率は、前年度に比べ低下した。流域人口減少に伴い汚水量は減少傾向にあり、また海水等の不明水が増加している。
 ⑧ 水洗化率は、例年ほぼ100%を達成しており良好である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べて高いが、顕著な問題はない。ただし、老朽化に伴う修繕の増加とともに、機能保全計画における機械施設の更新も予定していることから、財源確保に努める必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

安定的な運営を図るため、H28年度に策定した経営戦略により経営改善に努める。
 具体的には、施設等の長寿命化や計画的な更新、修繕計画を策定し、効率的な経営に努めるとともに、令和5年度以降に浄化センター施設の更新を予定しており、財源確保と起債の返還計画を含めた運営方針を決定する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。